

全国保険医新聞

発行所
全国保険医
団体連合会
東京都渋谷区
東代々木2-5-5
☎ 151-0053
新宿農協会館内
☎ 03(3375)5121
FAX 03(3375)1885
発行人/住江 憲男
振替口座 00160-0-140346
購読料千円1ヵ月750円
(会員の購読料は、会
費に含まれています)
http://hodonren.
doc-net.or.jp/

主な記事

- ▼ 新型インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン助成広がる……………3面
- ▼ 「保険で良い歯科医療を10・25決起集会」決議……………4面
- ▼ 新政権を診る「問われる政権公約の実現」……………5面
- ▼ 特集「鳩山新政権に望む」……………6・7面

亀井大臣 適用除外を指示

休保存続の要請で金融庁に

全国保険医団体連合会の住江憲男会長は10月21日、金融庁大臣室で亀井静香金融・郵政担当大臣と懇談し、休業保障制度を保険業法から適用除外とするよう要請した。要請には、亀井大臣の地元広島県の保険医協会から上田喜清副理事長が参加した。亀井大臣は、「適用除外とすることは当然の対応」として、同席した金融庁担当局長に早急に方策を講じるよう指示した。

今回の懇談は10月2日 会からの申し入れを受け、に亀井大臣に直接手渡し、実現したもの。懇談の席で住江会長は、

自主的、民主的に行われている自主共済と、マルチ共済などを同列視して保険業法の規制対象とすることは問題であり、適用除外となるよう措置を講じるよう要請した。亀井大臣は、保険医協会の共済など、会員に限定され、また健全に運営されてきた共済を、詐欺まがいの共済と同様に規制するのでは問題であり、



右から上田広島協会副理事長、亀井金融・郵政担当大臣、住江保団連会長

共済団体は相当数存在しており、対応できていない団体の実態を把握することは困難であると説明した。これに対し亀井大臣は、実態把握できていないにもかかわらず、マルチ共済や詐欺行為を行ってきた共済と同列視して規制することは問題であるとし、重ねて内藤局長に対策を指示した。

社会保障費増やして！国民のための医療・介護への転換を！

10・22 中央集會に 4000 人

への転換を！10・22中央集會」が開かれた。集會では、山崎摩耶衆議院議員(民主)、阿部知子衆議院議員(社民)、小池晃参議院議員(共産)が挨拶したほか、自見庄三郎参議院議員(国民新党・幹事長)、石井みどり参議院議員(自民)からのメッセージが紹介された。また日本歯科医師会・大久保満男会長、山形、群馬、愛知各県医師会、北海道、岩手、宮城、秋田、奈良各道県歯科医師会はじめ、50以上の団体、50以上の自治体首長から賛同・メッセージが寄せられた。

主催者を代表して挨拶した田中千恵子医労連委員長は「政権を変えた力を確信にして、国民のための医療、介護に転換させる運動を、医療介護従事者と国民の共同で、さらに広げよう」と訴えた。激励挨拶では、タレントで漫画家のやくみつる氏が登場。メディアに登場する立場として、患者の立場から皆さんの声を代弁したいと述べて大きな拍手に包まれた。また連帯挨拶として、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会世話人の江原雅博歯科医師、全国医師ユニオンの植山直人医師、看護協会の小川忍常任理事が登壇したほか、看護師、介護労働者、患者、医師、自治体病院の職員らが現場からの決意を述べた。

参加者は、診療報酬、介護報酬引き上げ、医師、看護師、介護職員の増員や処遇改善、患者・利用者の負担軽減、後期高齢者医療制度廃止等を求めるアピールを採択し、東京駅までパレードを行った(アピールは2面)。

入れ歯が危ない！

「保険で良い歯科医療を」決起集会



入れ歯の窓口負担が増えたり、保険だけでは入れ歯が作れなくなる。こうした入れ歯についての問題点など、歯科医療費抑制政策のもとで危機的

状況にある歯科医療の現状を打開しようと、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は10月25日、東京・青海の国際交流館で、「入れ歯が危ない」保険

で良い歯科医療を10・25決起集会を開催した。集会には歯科医師ら418人が参加し、日本歯科医師会をはじめ136

側からの歯科保険医療改善の政策提言と運動が、今こそ求められている」と述べた。集會は、「保険で良く噛める」入れ歯ができるようにしよう」など6つの要望を含む決議を採択した(決議は4面)。

全国の歯科医師ら街頭宣伝行動

決起集会の開催に先立ち、東京・有楽町のマリオン前で街頭宣伝行動を行った。全国の歯科医師、技士、衛生士ら230人以上が参加。217筆の署名が集まった。



日比谷野外音楽堂で開かれた10・22中央集會のもよう

オンライン請求義務化撤回求め緊急院内集會

保団連は10月22日、国会行動を行うとともに、「レセプトオンライン請求義務化撤回を！緊急院内集會」を開催し、「レセプトオンライン請求を『原則化』に改めるとした政権公約の実行を望みます」とのアピールを採択した(詳細は2面)。

1面のマンガはお休みします。「季節をよむ」は4面に掲載しました。

羅針盤

9月の連休、高速道路を使い青森の六ヶ所村を訪れた。車中で泊まり日本

列島を北九州から青森まで縦断往復した。高速道路のサービスエリアで食事し、洗浄力のある水(医療研で紹介)を使い、洗顔、洗髪、清拭、歯磨きした▼六ヶ所村は広く、農業、酪農、漁業を営む静かな村である。ここに再処理工場があり、近くにある再処理工場PRセンターを訪れた。再処理過程の説明図が展示され、説明のアナウンスが流れていた▼家族連れが多く来館していたが、再処理の意味がわかるのだろうか。医師仲間の多くも理解していないと思われる。放射能大量発生工場、プルトニウム回収工場、MOX燃料生産工場である。150mの煙突は気化した放射性廃棄物を出し、海水に液化した放射線廃棄物を流している。PR館の外の芝生では動物とのふれあい広場が催され、再処理とのギャップを感じた▼再処理工場の真実を多くの人に知らせ、人類と地球を守るため、危険で高コストの再処理工場を廃止し、水力発電、風力、太陽光や水から得られる水素など再生可能な安全で安価なエネルギー政策への道を選ぶべきだ。(北)